



総ボラ通信

総ボラの事業をご紹介します！



市民活動団体を楽しく運営するためのヒントを学ぶ

パパと子どもの秘密基地を作っちゃいました!!



NPO法人
おっとふぁーざー

7月16日、「NPO法人おっとふぁーざー」の館直宏氏を講師に迎え、クラウドファンディングや助成金を活用した団体運営について学ぶセミナーを開催しました。館氏は、「ミラカナ。」を利用し休校中の学校を父親と子どもが遊ぶ施設にしました。その体験談の中で「公表すれば必ず資金が集まるわけではない」「知り合いなどに直接声掛けすることも大切」「自治体の助成金や企業の協賛金も有効」と説明しました。

受講者の感想

「これまで助成金制度等の仕組みの話はあったが、リアルな体験談を聞くことができとても参考になった。」
「ブランディングすることが企画や資金調達につながる。」

相手の気持ちに寄り添い丁寧に話を聴く力を学ぶ

『聴く力』『伝える力』を育む傾聴セミナー



一般社団法人
今ここ

7月23日、「一般社団法人今ここ」の坂部まり子氏を講師に迎え、ボランティア活動に必要な傾聴力を高める講座を開催しました。はじめに相手の言葉をそのまま返す、共感する、相手のペースに合わせるなど傾聴の基本知識を学びました。次に参加者から2名の話し手を募り、実際に講師が傾聴をしている様子を見学しました。心理カウンセラーとして経験豊富な講師の事例を交えた話に、参加者は聞き入っていました。

受講者の感想

「つつい自分の意見を伝えたくありませんが、相手の話を丁寧に聞き、共感することが大事なんですね」
「自分の体調や状態が良くないときは、話を聴かない選択肢もあると聞きホッとしました。」

団体が取り組んでいる活動を体験！

夏休みワールドツアー



受講者の感想

「いろいろな国の読み聞かせが楽しかったです。スパゲティタワーが楽しかった。」
「初めての貴重な体験をさせてもらい達成感を感じ、人としても成長できた気がします。」



ものづくりで支援するボランティア

想いを紡ぐボランティア タオルケア帽子を作ろう！



受講者の感想

「楽しみながら社会の役に立つことができ嬉しかったです。また参加したいです。」
「がん治療に向かわれる方が希望を持って取り組むことができるようにと、願いながら心を込めて縫わせていただきました。」

7月29日、がん治療による脱毛に悩む方のためのタオルケア帽子を作製する講座を開催しました。

はじめに「グリーンケア福井」の代表である山崎氏から、活動への想いやタオルケア帽子の必要性等について講義を受けました。その後、団体メンバーのサポートのもと、タオルケア帽子の作製が行われました。普段、縫い物をあまりしない高校生は四苦八苦しながらも、楽しそうにタオルケア帽子作りを進め、全員が完成させることができました。作製した帽子は、「グリーンケア福井」を通して必要としている方へ寄付されました。

みんなで思いやりの輪を広げよう

結んでつなぐボランティア シトラスリボンを作ろう



受講者の感想

「普段当たり前と思っていた普段の暮らしの中で「ただいま」「おかえり」と言い合える人の輪を広めていきたいと思いました。」
「コロナ差別がある中で、自分にできる最大限のことをしようと思いました。」

8月19日、コロナをきっかけに発足した愛媛県のボランティアグループ「ちょびっと19+(ないんていーんぷらす)」を講師に迎え、シトラスリボンを学び、作製する講座を開催しました。

講義はオンラインで行われ、活動への想いや活動内容、また、リボン作製を通して福井市でも思いやりの輪を広げてほしいという団体の願いに、高校生は真剣に耳を傾けていました。

シトラスリボン作製時には、東藤島公民館のシトラスリボン作製ボランティア「シトラスちゃん'S」が高校生をサポート。約150個のシトラスリボンを作製することができました。

福井市の花あじさいで足羽山を彩ろう

あじさい花つみボランティア



7月31日、足羽山公園遊園地であじさいの花つみボランティア講座を開催しました。あじさいの花は次の年もきれいな花を咲かせるために開花後の花をつむ必要があります。

早朝から、高校生を含む26名が造園業会の丁寧な指導のもと活動を行いました。剪定のコツは、剪定ばさみを使い、リズムカルに思い切りよく花をつむことです。花つみ作業は思っていた以上にスムーズに進み、一時間ほどで見違えるようにすっきりしました。来年、どんな花を咲かせてくれるか楽しみです。

受講者の感想

「自然とふれあえて、汗を流して体も動かせる。楽しかった。またやりたい。」
「福井市の花であるあじさいで足羽山が彩られる日が楽しみです。」



南越前町において災害ボランティア活動が行われました！

8月に大雨災害を受けた南越前町の復旧支援のため、災害ボランティア活動が行われました。毎年のように起きる自然災害被害からの復旧のため、災害ボランティア活動はますます重要になってきています。

コロナ禍のため、県内からのボランティアに限定した募集でしたが、たくさんのボランティアが集まり、泥かきや、流れてきた樹木の移動といった活動が行われました。

炎天下での作業は想像以上に厳しく、こまめな水分補給と休憩を挟みながら、安全第一で着実に進められました。

参加者は、災害ボランティアに参加する際には、自分の身体を第一に考えて活動しなければならないということをもっと学びました。

被災された方は、「皆さんのお力添えで、元の姿に近づけた」と、ボランティアに感謝されていました。



まち美化パートナーパネル展

9月27日(火)～10月16日(日)

会場：福井市総合ボランティアセンター

市民と市が協働で公園や河川の美化活動を行う「まち美化パートナー制度」。この仕組みを使って、身近な公共施設を自分たちの手できれいにしませんか？

現在、市内81団体が登録されており、今回は、そのうちの27団体の活動をご紹介します。





みんなの活動パネル展 2022

10月21日(金)～11月6日(日)

様々な分野で活動しているNPOや市民活動団体を紹介するパネル展とワークショップを開催します！
お気軽にお越しください！

パネル展示 29 団体のパネルが展示されます！

- 1 10/21～30 総合ボランティアセンター
- 2 11/1～6 しあわせ広場（ハピリン2階）

ワークショップ

11/5～6 しあわせ広場で2日間にわたり、7団体によるワークショップを開催します。

昨年の様子



皆様のお越しをお待ちしております！



「ふくい市民活動基金」へのご協力をお願いします！

ふくい市民活動基金とは、事業者や市民の皆様からいただいたご寄附をもとに、市民活動団体が行う公益的な活動や小中学生が行うボランティア活動を支援するものです。

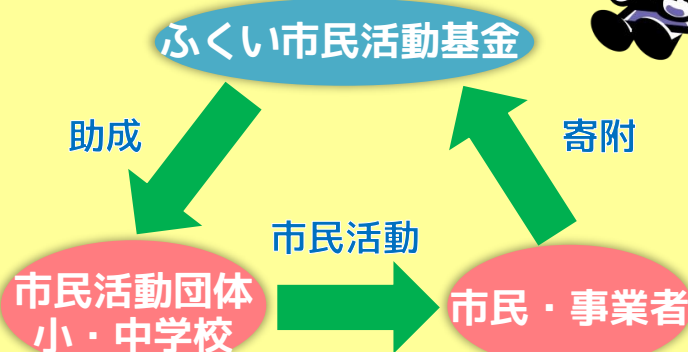
市民活動を社会全体で支えるため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



基金のホームページは右のQRコードから！
ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問合せください！



基金の流れ



福井市総合ボランティアセンター

〒910-0006 福井市中央1丁目2-1ハピリン4階
福井市市民協働・ボランティア推進課

TEL:0776-20-5107 FAX:0776-20-5168
E-mail:volunteer@city.fukui.lg.jp

【開所時間】 火曜～金曜日 9時から21時
土曜日・日曜日 9時から17時

【休所日】 月曜日、祝日、年末年始
(祝日が土日の場合は開館)

ボランティアネットをご活用ください！



- あなたにあった活動が見つかります！
- ボランティアの情報がわかります！
- 講座や交流会に参加できます！
- 交流ひろばや研修室がつかえます！
- チラシやポスターが印刷できます！